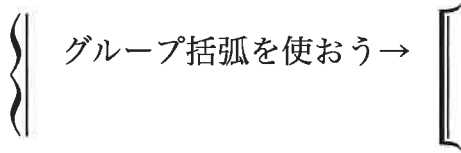



『新緑の風』 寸評

- ・響きとコードの選択にはまったく問題ない
- ・リズムのまとまりとゆるやかな展開も手の内に入っている
- ・メロディの流れも自然で終止までとてもスムーズ
- ・Va.の動きもなめらかに響き良くVn.を支える
- ・タイトルのイメージも作品に好適

完成度をさらに上げるために

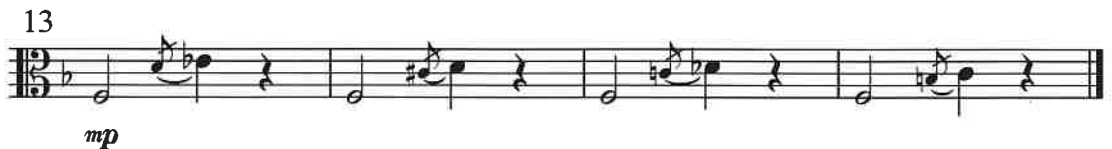
- ・大譜表ではなく →  グループ括弧を使おう → 
- ・全体がこじんまりとまとまりすぎているので意外性がほしい
- ・たとえばコードを考えずに半音階を下行



- ・新たな要素を徹底的に利用



- ・たとえばトニックペダルを利用



せつかくの旋律、いろんな可能性を試してみよう!

特魔 勉